

## NGNフィールドトライアルでNTT Comが実施する 「災害時安否情報共有サービス」トライアルにおいて グローリーの顔照合技術を採用

### 【概要】

この度、グローリー株式会社が開発しました顔照合技術が NTT グループが展開する次世代ネットワーク(以下、「NGN<sup>\*1</sup>」)のフィールドトライアルにおいて、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(代表取締役社長:和才博美、以下、「NTT Com」)が実施する「災害時安否情報共有サービス」トライアル<sup>\*2</sup>に採用されます。

グローリーは、通貨処理技術で培った認識・識別技術を活かして、平成 15 年に髪型、化粧や表情などの変化にも対応可能な「多重変動分析法による局所特徴比較方式」<sup>\*3</sup>による認証精度の高い顔照合技術を開発しました。さらに、技術を発展させ、平成 18 年には既存技術では困難とされていた、太陽光の下でも安定した照合が可能な顔照合技術を世界で初めて開発し、屋内から屋外まで様々な場所での顔認証を可能にしました。

本サービストライアルは、様々な被災時、状況を迅速に把握し、救難活動や親族による安否確認に効果的な情報を提供することで、災害対策活動への貢献を目指すものです。NGNのQoS制御<sup>\*4</sup>を活用した高精細映像伝送と、弊社の高速で精度の高い顔照合技術を応用することで、避難所で撮影した映像から、家族等の写真を用いて検索照合し、被災者の安否情報を確認できるようにするものです。

自治体や企業は、このサービスの利用により災害対策に関するコストの低減化、被災時のオペレーションの簡便化、安否情報集約の迅速化を図ることが期待できます。

なお、本サービストライアルは、7月18日より、NTTグループが東京都千代田区大手町に開設しているショールーム NOTE(大手町)<sup>\*5</sup>に展示されています。

\*1「NGN」:

日本電信電話(株)をはじめとする NTT グループが整備を進めている次世代の情報通信ネットワークで、従来の電話網がもつ信頼性・安定性を確保しながら、IP ネットワークの柔軟性・経済性を備えたものです。

\*2「災害時安否情報共有サービス」トライアル:

本サービストライアルの概要については、NTT Com の報道発表をご参照ください。

<http://www.ntt.com/release/2007NEWS/0002/0214.html>

\*3「多重変動分析法による局所特徴比較方式」:

平成 15 年にグローリーが独自に開発した顔照合方式です。顔画像の中に数十個以上の比較するサンプル点を設定し、各サンプル点をもとに解析した特徴データと登録されている特徴データを比較します。人が目で見て判断する場合ときわめて近い照合用アルゴリズムのため、高い精度の顔照合が可能です。

\*4「QoS制御」:

NGNが提供する、サービスに応じて選択可能な通信品質の保証機能です。これにより、高精細・大容量の映像を確実に通信させることが可能です。

\*5NGN ショールーム「NOTE」:

本ショールームの概要については、以下のサイトをご参照ください。

<http://www.ngn-note.jp/top.html>